

平成29年度 共同化科目一覽

科目群	科目名	担当教員	開講期	授業目的区分			
				A	B	C	
人間と文化 (29科目)	人間と歴史	哲学	工・伊藤	後	○	○	
		比較宗教学	工・長岡	前	○	○	
		宗教と文化	医・田中	後	○	○	
		日本史	工・鬼頭	前	○		
		東西文化交流史	工・オガタ	後	○	○	○
		アジアの歴史と文化	府・井上	前	○	○	
	文化・芸術	ヨーロッパの歴史と文化	府・阿部ほか	後	◎	○	
		ラテン語	医・松本	後	○	○	
		西洋文化論	工・山下太	後	○		○
		日本文学Ⅰ	医・早川	前	○		
		日本文学Ⅱ	工・早川	後	○		
		日本近現代文学	工・高木	前	○	○	
		西洋文学論	工・山下大	前			○
		文芸創作論	医・藤田	後			○
		美と芸術	工・三木順	前	○		
		日本近代精神史	工・伊藤	前	○	○	
		フランス語圏の文化とジャポニスム(※2回生以上)	工・吉川	前(午前)	○	○	
		映画で学ぶ英語と文化(※3回生以上)	府・出口	後(午前)			○
		映画で学ぶドイツ語と文化(※3回生以上)	府・青地	前(午前)			○
	京都学	京都の歴史Ⅰ	府・菱田ほか	前	○	○	
		京都の歴史Ⅱ	府・小林ほか	後	○	○	
		京都の文学Ⅰ	府・赤瀬	前	○	○	
		京都の文学Ⅱ	府・赤瀬	後	○	○	
		京の意匠	工・並木	後	○	○	○
		英語で京都(※3回生以上)	機構・金澤	後	◎	○	
	リベラルアーツ・ゼミナール	京都学 歴史ゼミ(リベラルアーツ・ゼミナール)(※2回生以上)	機構・藤本ほか	後(午前)		○	○
		現代イスラーム世界の文化と社会(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅣ)	機構・田村	集中・夏	◎	○	
		感性の実践哲学(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅥ)	機構・桑子	集中・夏		○	○
		科学と思想(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧科学と思想)	工・林	後	○		◎
社会科学の基礎	人文地理学Ⅰ	医・阿部ほか	前	○	○		
	人文地理学Ⅱ	医・春日	後	○	○		
	社会学Ⅰ	府・井口	前	○	○	○	
	社会学Ⅱ	府・井口	後	○	○	○	
	政治学	工・竹本	後	○	○	○	
	国際政治	府・依田	前	◎	○	○	
	経済学入門	工・人見	後	○			
	生活と経済心理学	府・小沢	後	○		○	
	発達心理学	医・小川	集中・夏	○	○		
	現代社会と心	府・石田	後	○		○	
人間と社会	現代社会とジェンダー	府・小沢ほか	前	◎	○		
	人権教育	工・杉本	前	○	○		
	現代教育論	工・堀屋	前		○	○	
	食環境をめぐる国際社会と日本	府・宗田ほか	前		○	○	
	環境と法	工・鳥谷部	後	◎	○	○	
	近代京都と三大学	機構・宗田ほか	前			○	
	京の産業技術史	工・山田	後			○	
	現代京都論	府・大島	前			○	
	医史学	医・八木	前	◎	○		
	京都の経済	府・川勝	後			○	
リベラルアーツ・ゼミナール	現代社会に学ぶ論うか書く力(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅠ)	機構・児玉	前・後		○	◎	
	社会科学の学び方(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅡ)	機構・児玉	後	◎	○		
	現代社会と映画製作(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅣ)	機構・長坂	集中・夏	◎	○		
	アメリカと中国はいま(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅤ)	機構・脇田	集中・冬		○	○	
	経営哲学(リベラルアーツ・ゼミナール)(※2回生以上)	機構・児玉	前	◎		○	
	物理学Ⅰ	府・春山	前	○			
自然科学の基礎	化学概論Ⅰ	工・三木定	前	○			
	化学概論Ⅱ	工・石川	後	○			
	生物学概論Ⅰ	工・疋田	前	○			
	生物学概論Ⅱ	工・疋田	後	○			
	生命科学講話	府・塚本ほか	集中・夏	○	○		
	地球の科学	工・酒井	後	○		○	

科目群	科目名	担当教員	開講期	授業目的区分				
				A	B	C		
人間と自然 (25科目)	人間と自然科学	人と自然と数学 α	工・峯	前	○	○	○	
		人と自然と数学 β	工・朝田	後	○	○	○	
		人と自然と物理学	工・萩原ほか	後	○	○	○	
		生物学的人間学	医・小野ほか	前	○			
		意外と知らない植物の世界	機構・松谷ほか	後	○	○	○	
		科学史	工・大西	後	○	○	○	
		環境問題と持続可能な社会	工・山田	前	○		○	
		食と健康の科学	府・東ほか	前	◎		○	
		キャンパスヘルス概論	工・荒井	前	○	○	○	
		時間生物学特論(※3回生以上(修士課程大学院生を含む))	医・八木	集中・夏	○		○	
		エネルギー科学	工・林	前	◎		○	
		現代科学と倫理	府・岩崎	前			○	
		医学概論(※2回生以上の工職大・府大生が対象)	医・渡邊ほか	後(午前)	○		○	
		環境論	機構・田中	後(午前)	◎		○	
	京都学	京都の自然と森林	府・高原ほか	前			○	
		京都の農林業	府・寺林ほか	後			○	
		京野菜を栽培する(リベラルアーツ・ゼミナール)	府・間藤	集中			○	
		製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅣ)	機構・石田	後			○	
		京野菜を栽培する(リベラルアーツ・ゼミナール)(再掲)	府・間藤	集中	○			
		合計80科目						
	リベラルアーツ・ゼミナール (11科目)	(再掲)	京都学 歴史ゼミ(リベラルアーツ・ゼミナール)(※2回生以上)	機構・藤本ほか	後(午前)		○	○
			科学と思想(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧科学と思想)	工・林	後	○		◎
			現代社会に学ぶ論うか書く力(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅠ)	機構・児玉	前・後		○	◎
		集中開講	社会科学の学び方(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅡ)	機構・児玉	後		◎	○
			経営哲学(リベラルアーツ・ゼミナール)(※2回生以上)	機構・児玉	前	◎		○
製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅣ)			機構・石田	後			○	
現代イスラーム世界の文化と社会(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅤ)			機構・田村	集中・夏		◎	○	
感性の実践哲学(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅥ)		機構・桑子	集中・夏		○	○		
		現代社会と映画製作(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅣ)	機構・長坂	集中・夏		◎	○	
		アメリカと中国はいま(リベラルアーツ・ゼミナール)(旧リベラルアーツ・ゼミナールⅤ)	機構・脇田	集中・冬		○	○	
		京野菜を栽培する(リベラルアーツ・ゼミナール)	府・間藤	集中	○			
京都学 (15科目)	(再掲)	京都の歴史Ⅰ	府・菱田ほか	前	○	○		
		京都の歴史Ⅱ	府・小林ほか	後	○	○		
		京都の文学Ⅰ	府・赤瀬	前	○	○		
		京都の文学Ⅱ	府・赤瀬	後	○	○		
		京の意匠	工・並木	後	○	○	○	
		英語で京都(※3回生以上)	機構・金澤	後	◎	○		
	集中開講	京都学 歴史ゼミ(リベラルアーツ・ゼミナール)(※2回生以上)	機構・藤本ほか	後(午前)		○	○	
		近代京都と三大学	機構・宗田ほか	前			○	
		京の産業技術史	工・山田	後			○	
		現代京都論	府・大島	前			○	
医史学	医・八木	前	◎	○				
京都の経済	府・川勝	後			○			
京都の自然と森林	府・高原ほか	前			○			
京都の農林業	府・寺林ほか	後			○			
京野菜を栽培する(リベラルアーツ・ゼミナール)	府・間藤	集中	○					
2回生以上向け開講 (8科目)	(再掲)	フランス語圏の文化とジャポニスム(※2回生以上)	工・吉川	前(午前)	○	○		
		映画で学ぶ英語と文化(※3回生以上)	府・出口	後(午前)			○	
		映画で学ぶドイツ語と文化(※3回生以上)	府・青地	前(午前)			○	
		英語で京都(※3回生以上)	機構・金澤	後			◎	
	集中開講	京都学 歴史ゼミ(リベラルアーツ・ゼミナール)(※2回生以上)	機構・藤本ほか	後(午前)		○	○	
		経営哲学(リベラルアーツ・ゼミナール)(※2回生以上)	機構・児玉	前	◎		○	
		時間生物学特論(※3回生以上(修士課程大学院生を含む))	医・八木	集中・夏	○		○	
		医学概論(※2回生以上の工職大・府大生が対象)	医・渡邊ほか	後(午前)	○		○	

担当教員(それぞれの略称は、科目の提供大学・機関を示します。)
 工：京都工芸繊維大学、府：京都府立大学、医：京都府立医科大学、
 機構：京都三大学教養教育研究・推進機構
 授業目的区分(○は該当するもの、◎は特に強調するもの)
 A：人文・社会・自然の諸分野の学術体系を俯瞰しながらこれらの基礎を幅広く学習し、学術への高い関心を育てる。
 B：世界の人々の多様な生き方を感じ、人としての豊かな感性や倫理観を拡張する。
 C：日々社会に生起する種々の問題において、真理や正義を探究する議論に習熟する。